

	ワーク ショップ3 液体粘土を使って～ 絵画から立体まで	ワーク ショップ4 魅力を伝える しかけ～企画・展示	ワーク ショップ5 版画で絵を 楽しもう!!	セミナー& ワークショップ6 工房まるの 取り組みから
日時	10月15日(日) 10:30～12:30	11月25日(土) 10:00～15:30	1月20日(土) 13:00～15:30	2月11日(日・祝) 10:30～16:00
場所	社会福祉法人 ひとは福祉会 共同ホームひとは・ ひとは作業所 〒739-1203 広島県安芸高田市 向原町長田1857	尾道市立美術館 〒722-0032 広島県尾道市西土堂町17-19 (千光寺公園内)	廿日市市総合 福祉センター (あいプラザ) 健康指導室 〒738-8512 広島県廿日市市 新宮1丁目13番1号	合人社 ウェンディひと・ まちプラザ 広島市まちづくり 市民交流プラザ 〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
定員	20名	20名	20名	30名
内容	10:00 受付 10:30～10:40 あいさつ 10:40～12:10 現場で生かせる ワークショップ 「液体粘土を使って～ 絵画から立体まで」 講師: 美術家 松尾真由美氏 12:10～13:00 社会福祉法人 ひとは福祉会見学 13:00 終了	9:45 受付 10:00 あいさつ 10:10～11:40 講演 「作品の魅力を伝えるしかけ」 11:40～13:00 昼食 13:00～15:00 現場で生かせる ワークショップ 「企画・プチ展示会を してみよう!!」 15:00～15:30 質疑応答・振り返り 講師: 尾道市立美術館 学芸員 梅林信二氏 15:30 終了	12:30 受付 13:00 あいさつ 13:10～14:40 現場で生かせる ワークショップ 「版画で絵を楽しもう!!」 講師: 廿日市手をつなぐ育成会青年教室 山先方江氏 14:40～15:30 ワークショップ振り返り 「版画表現から見えてくる 世界について」 講師: 画家 濱田俊彦氏 15:30 終了	10:00 受付 10:30～10:40 あいさつ 10:40～12:10 講演 「障がいのある人の アートの可能性」 12:10～13:30 休憩(昼食) 13:30～14:00 特別推薦展示の作品の ギャラリートーク 14:00～14:30 休憩 14:30～16:00 現場で活かせる ワークショップ 講師: NPO法人まる 代表理事 樋口龍二氏 16:00 終了
申込み 締切り	10月10日(火)	11月18日(土)	1月15日(月)	2月5日(月)

※ 上記、場所のQRコードはスマートフォンで読み込みますと各場所の地図が表示されます。詳しく場所を知りたい方はご利用ください。

ワークショップ3・ワークショップ5 汚れてもいい服装でご参加ください。

**ワークショップ
セミナー共通** ※講師・内容は止むを得ない事情で変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※各会場、駐車場がなかったり、台数が限られていますので、乗り合いでお越しいただくか、公共交通機関にてお越しいただきますようお願い致します。
※各回とも定員がいっぱいになり次第終了いたします。キャンセルされる場合は、お早めにご連絡ください。
※詳細内容や持ち物については参加者の方に別途お知らせします。

ワークショップ3 液体粘土を使って～ 絵画から立体まで

社会福祉法人ひとは福祉会
「誰でも共に暮らせる社会」を
目指す文化の発信基地となり、
ひとは福祉会のかかわる全ての
人たちと共に、自分づくり、地域
づくり、社会づくりを進めている。
アート表現だけに限らず、個人の
生活の中で当たり前にある
表現の尊さ、貴重さを感じる
活動を続けている。



松尾 真由美
Mayumi Matsuo
【美術家】美術の力や可能性を求め
て、児童を対象とした講座やワーク
ショップを広く行っています。

ワークショップ5 版画で絵を楽しもう!!



山先 方江
Masae Yamasaki
【日本版画会 会員 中国支部役員】
38年間美術教師として、広島県内
の中学校や支援学校に勤務。保護
者と共に障がい児の遊び場「虹の
会」を立ち上げ、定期的に開催す
る。同時に廿日市手をつなぐ育
成会「青年教室」青年教室、料理、
美術(版画、陶芸など)、文化的行事
など障がいのある方たちと一緒に
活動を続けている。



濱田 俊彦
Toshihiko Hamada
【画家】比治山大学短期大学部
教授を退官後、画家として活躍。
障がいのある人の展覧会「ア
ート・ルネッサンス」の審査員長を
12年間勤めた経験から、ア
ーティストの気持ちに寄り添った
表現方法や、創作活動の環境整
備についてアドバイスする。



ワークショップ4 魅力を伝えるしかけ～ 企画・展示

尾道市立美術館
「本物の芸術と文化を提供し、新たな感動の
中で歴史を見据えながら、未来へと羽ばたく
豊かな夢と明るい希望を世界へ発信して、
地域社会に貢献する本格派の美術館」という
コンセプトのもと、展覧会を中心に据えて
活動をしている。



梅林 信二
Shinji Umebayashi
【尾道市美術館 学芸員】
20年間尾道市の学芸員
として、尾道市立美術館、
おのみち歴史博物館に勤務。
現在、年間10本ほどの展
覧会を担当し、日々、展示
の在り方を模索している。

セミナー& ワークショップ6 工房まるの取り組みから

【NPO法人まる代表理事
株式会社ふくしごと 取締役副社長】
九州/福岡を中心に、障がいのある人たちの表現を社会
にアウトプットする企画運営や、表現活動をサポートする人
材育成として、セミナーやワークショップ等も各地で開催。
2015年には、障がい者の自立サポートを目的とした「(株)ふくし
ごと」を、地元福岡の企業経営者やクリエイターたちと共同設立。障がいのある人たちに対
しても柔軟に対応できる「まちづくり」としてさまざまな活動をおこなっている。2014年、
「NPO法人まる」が「第22回福岡県文化賞(社会部門)」を受賞。



樋口 龍二
Ryuji Higuchi



〒815-0041
福岡市南区
URL : maruworks.org

工房まる
1997年に無認可の作業所としてスタート。
2008年に個別給付事業に移行し、現在は「生活・仕
事・ケア」の3つの視点で、それぞれ働き方や生き方
に適したサポートを行っている。主に、絵画や陶芸、木
工など創作・表現活動を中心に、Tシャツやカレン
ダーなどオリジナル商品の販売、企業や他団体との
コラボ商品開発、クリエイターとの共同イベントな
ど、メンバー(利用者)と社会をつなげるためにさま
ざまな形でアウトプットしている。また、成果を形とし
て表現しにくい利用者に対してプロジェクト形式で
アイデアを集結し、その人らしく過ごせる環境づくり
を構築している。

ワークショップ&セミナーお申込み用紙

氏名：					
所属：					
必要な方は○を つけてください	手話通訳	要	要約筆記	要	TEL：
					※セミナー当日に連絡のつく番号
E-mail：					
					※パソコンからのメールを受信できるもの
参加希望するところに ○をつけてください。 ※複数可能です。	ワーク ショップ3	ワーク ショップ4	ワーク ショップ5	セミナー& ワークショップ6	
お悩み、質問記入欄					